

訪問型サービスC 利用例

訪問型サービスC サービスのポイント

★改善が見込める課題に対し専門職が短期間重点的に介入する

タイプⅠ(通常型)

①	介護認定を持っており、歩行機能の低下が見られ生活機能改善の必要性があるも、通所型サービスは本人が望んでいない	理学療法士	生活機能向上のための、住環境・心身状況のアセスメント、機能訓練指導を行う
		栄養士	自宅での機能訓練による効果の向上を目指し、高たんぱくの食事指導を行う
②	心身機能が弱り、近所のスーパーに買い物に行くことが出来なくなった。重いものはヘルパーさんに頼むが、一緒に行って自分で選んで買物したい。	理学療法士	下肢筋力向上の機能訓練の指導。スーパーまでの経路の確認・課題の抽出、課題解決のための機能訓練
		栄養士	自宅での機能訓練による効果の向上を目指し、高たんぱくの食事指導を行う
③	主治医より高血圧を指摘され、食事内容の改善を言われているが、本人は塩辛いものが好きで食事をどうしたら良いかわからない。かかりつけ医には栄養士さんがおらず、指導は受けれない。	理学療法士	血圧コントロールのための運動方法を指導
		栄養士	本人・家族・ヘルパー等に本人の嗜好や生活状況に合わせた減塩のための食事内容や調理方法の指導を行う
④	事業対象者で腰部手術のために入院・退院後外来リハビリを3か月利用し卒業する予定も、団地の階段を降りる事に恐怖がある。通所を進めるも利用者の年齢が若いこともあり、通所を望まない。	理学療法士	階段を含めた住環境のアセスメント、階段をスムーズに下りるための機能訓練指導
		栄養士	機能訓練による効果の向上を目指し、高たんぱくの食事指導を行う

タイプⅡ(通所C特化型)

①	在宅で腰部骨折し在宅療養後通所型サービスC利用予定だが、また骨折するのではないかと家での生活に不安がある	理学療法士	生活動作の確認、在宅生活での課題をアセスメント。居住環境に合わせた機能訓練を通所C事業所に情報提供
		栄養士	骨密度強化のための栄養指導・家族への調理方法の指導
②	身体機能が低下し通所型サービスC利用予定。利用者は浴槽に入ってお風呂に入りたいが、浴槽をまたげずシャワー浴になっている。洗濯は可能だが、洗濯物を干すことが出来ない。	理学療法士	生活動作の確認、住環境の整備、在宅生活での課題をアセスメント。居住環境に合わせた機能訓練を通所C事業所に情報提供
		栄養士	機能訓練をより効果的にするために、調理環境や食事内容をアセスメントし、通所Cに情報提供

※あくまで事例ですので、個別の状態像に合わせてケアマネジメントしてください